第93期

中間報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日

証券コード：2204

株式会社 中村屋

経営理念

新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに中村屋グループ第93期第2四半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における事業の概要をご報告申し上げます。

代表取締役社長　染谷　省三

経営環境と成果の報告

当第2四半期中の菓子・食品業界は、円安や株高の進行を背景に景気回復への期待感が高まったものの、消費税増税や雇用・所得環境への懸念から、節約志向は依然として続き、原材料やエネルギーコストの上昇などの要素も加わり、厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当中村屋グループは『中期経営計画2011～ 2013』の最終年度を迎え、経営目標である「持続的成長の実現」を達成するため、成長マーケットへの新規参入や新商品開発など、企業基盤の強化となる諸施策を実行することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上のような経過の中、当第2四半期累計期間の連結売上高は、本店建替え休業の影響を受け15,487百万円となりましたが、前年同期比では34百万円、0.2%の増収となりました。しかしながら、利益面では、原材料費・光熱費の高騰による原価率の上昇もあり、営業損失は1,615百万円 前年同期比100百万円、経常損失は1,579百万円 前年同期比108百万円、四半期純損失は1,079百万円 前年同期比50百万円と、それぞれ減益となりました。

今後の取組みについて

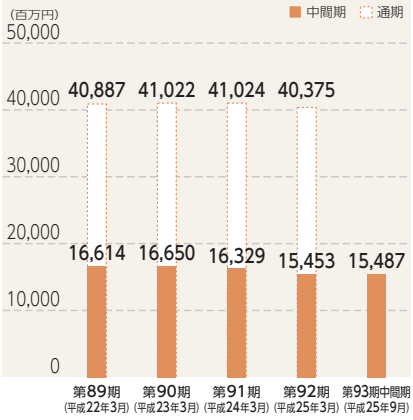
少子高齢化に伴う国内市場の縮小、ライフスタイルの多様化による健康志向や食の利便性・簡便性ニーズの高まり、インターネットの発達に伴う「買う場所」の変化など、消費構造は大きく変化しております。これらの変化を事業機会として捉え、そこに新たな価値を提案することで収益の拡大を目指します。また、各事業が効果的に戦略テーマに経営資源を集中させることで経営の効率化を図ります。同時に、持続的成長を実現すべく、中長期視点での事業モデルの確立と構造改革を推進します。さらに将来に向けた保有資産の有効活用により経営基盤の安定化に努め、すべてのステークホルダーの満足度向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当第2四半期のポイント

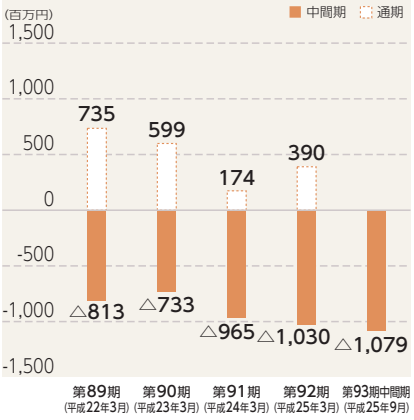
◆若干の増収も、原材料費・光熱費の高騰による原価の上昇等により増収減益となりました。

連結売上高

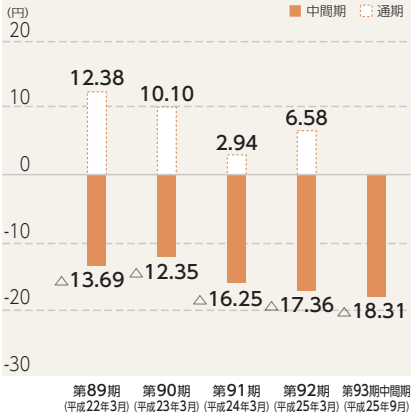


連結経常利益又は損失

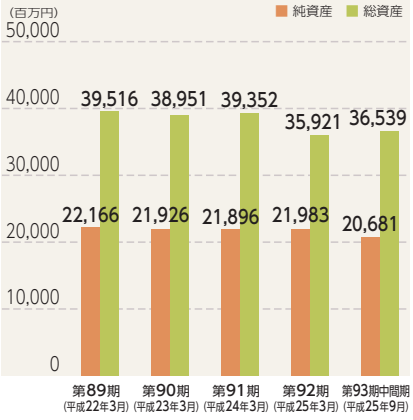
連結当期純利益又は四半期純損失



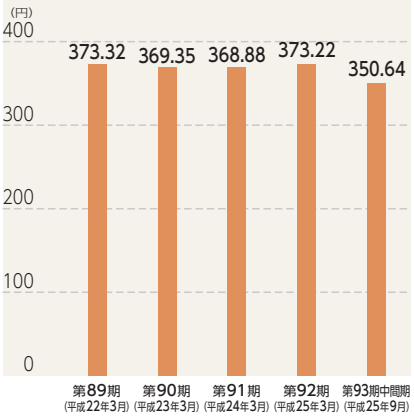
一株当たり当期純利益又は四半期純損失



純資産／総資産



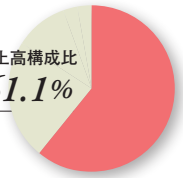
一株当たり純資産



ふわくるみ

こがねはずみ

菓子事業



売上高9,456百万円
（前年同期比0.9%減）

菓子事業では、主力商品の改良と独創的な魅力ある新商品の開発を積極的に行い、商品力の強化を図りました。

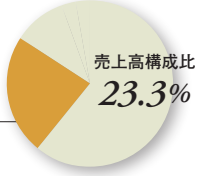
パックデザート類では、バラエティー豊かな和洋ギフトセット「涼いろあつめ」、普段使いの手土産向け商品「トロワジュレ」など4品目を新発売し、夏のギフト商戦の競争力を高めました。

贈答菓子類では、カスタード味のクリームと餡をカステラ風のふんわりしっとり食感の生地で包んだ洋風まんじゅう「ふわくるみ」、チョコクリームをざくざくとした新食感のクッキーで包んだ「ざくっとしょこら」を新発売しました。また、米菓「こがねはずみ」や洋風和菓子「うすあわせ」、洋菓子「アイリッシュケーキ」など主力商品の食感や風味の向上に取り組み、パッケージデザインの改良を実施するなど、お客様満足の向上に努めました。

中華まんじゅう類では、嗜好の変化に合わせた改良を行い、量販店販路向けでは、「肉まん」「あんまん」などの皮をしっとりやわらかくしました。コンビニエンスストア販路では、「ジューシー肉まん」「手包み特製豚まん」などの原材料や製法にこだわり、具材感とジューシーさを向上させました。また、揚げパン類では、「夏野菜のスパイシーカレーパン」を新発売しました。

店舗展開では、寒天スイーツ「かんてん舎（や）」の店舗数を伸ばしました。また土産販路では、「ショコラティラミス」「大阪クリスピードーナツ」などの新商品を積極的に投入しました。

食品事業



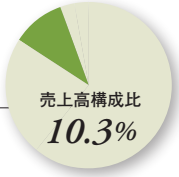
売上高3,613百万円（前年同期比0.3%増）

業務用食品では、ファミリーレストラン、ファストフード、カフェ業態への取組みを強化し、健康訴求型カレー類やハンバーガー用ソースなどのメニューを積極的に提案しました。また、新規お取引先の開拓にも注力し、売上高の拡大に取り組みました。

市販食品では、今年2月に発売した新商品のレトルトカレーが好調に推移しました。また、夏季にはレトルトカレー及び中華ソースの販促キャンペーンを実施し、販売数を大きく伸ばしました。生協宅配販路では、国産具材を使用したカレーシリーズが順調に推移しました。

インドカリーシリーズ／技あり仕込みシリーズ

飲食事業



売上高1,599百万円
（前年同期比0.2%減）

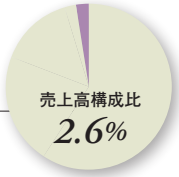
直営店舗「オリーブハウス」「インドカリーの店」「ファリーヌ」では、徹底した美味しさの追求のもと、既存商品の磨き上げと新商品の開発を積極的に行いました。また、心のこもったサービスの提供にも継続的に取り組み、お客様にご満足いただける店舗作りに努めました。6月には、阿倍野ハルカス近鉄本店タワー館に「オリーブハウスあべのハルカス店」を改装出店しました。

（仮称）新宿中村屋ビルの建替え工事期間中、新宿高野ビル6階で営業している仮店舗「新宿中村屋レストラン」では、引き続きインドカリーなど本店伝統の味を提供しました。

小海老の
ライスグラタンセット

オリーブハウスあべのハルカス店メニュー

その他事業



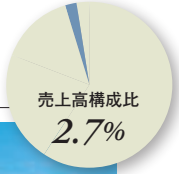
売上高407百万円
（前年同期比2.7%増）

スポーツ事業では、会員制スポーツクラブ「NAスポーツクラブA−1」において、顧客ニーズに応じた多様なメニューの開発・導入を行い、施設や設備のリニューアルなどハード面からもサービス向上に努めた結果、笹塚店・町田店ともに会員数が増加しました。

A-1キッズプログラム

A-1笹塚店 フィットネスジム

不動産賃貸事業



売上高412百万円
（前年同期比33.9%増）

不動産賃貸事業では、笹塚NAビルの設備の更新・改善など、安心・安全で快適なオフィスビルとしての価値向上に取り組み、東京都心のオフィスビル市況が回復傾向にあるものの市場競争が激化する中、満室稼動を実現させました。

笹塚NAビル

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（平成25年9月30日現在）	前第2四半期（平成24年9月30日現在）	前期（平成25年3月31日現在）
資産の部			
流動資産	8,932	10,534	8,948
固定資産	27,606	26,862	26,973
有形固定資産	22,197	21,752	22,053
無形固定資産	133	103	118
投資その他の資産	5,277	5,007	4,802
資産合計	36,539	37,396	35,921
負債の部			
流動負債	6,953	8,829	5,213
固定負債	8,905	8,414	8,725
負債合計	15,858	17,243	13,938
純資産の部			
株主資本	19,977	20,359	21,614
資本金	7,469	7,469	7,469
資本剰余金	7,841	7,842	7,842
利益剰余金	4,986	5,235	6,655
自己株式	△ 320	△ 187	△ 352
その他の包括利益累計額	704	△ 206	369
その他有価証券評価差額金	704	△ 206	369
純資産合計	20,681	20,153	21,983
負債・純資産合計	36,539	37,396	35,921

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（平成25年4月 1日から平成25年9月30日まで）	前第2四半期（平成24年4月 1日から平成24年9月30日まで）	前期（平成24年4月 1日から平成25年3月31日まで）
売上高	15,487	15,453	40,375
売上原価	9,859	9,649	23,882
売上総利益	5,628	5,803	16,494
販売費及び一般管理費	7,243	7,319	16,042
営業利益又は損失（△）	△ 1,615	△ 1,516	452
営業外収益	55	64	113
営業外費用	20	20	65
経常利益又は損失（△）	△ 1,579	△ 1,472	500
特別利益	59	—	316
特別損失	165	36	44
税金等調整前当期純利益又は四半期純損失（△）	△ 1,686	△ 1,507	772
法人税、住民税及び事業税	29	75	166
法人税等調整額	△ 636	△ 553	216
少数株主損益調整前当期純利益又は四半期純損失（△）	△ 1,079	△ 1,030	390
当期純利益又は四半期純損失（△）	△ 1,079	△ 1,030	390

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（平成25年4月 1日から平成25年9月30日まで）	前第2四半期（平成24年4月 1日から平成24年9月30日まで）	前期（平成24年4月 1日から平成25年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 972	△ 1,392	298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,022	△ 671	537
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,684	△ 652	△ 4,041
現金及び現金同等物の増減額	△ 310	△ 2,715	△ 3,206
現金及び現金同等物の期首残高	1,973	5,179	5,179
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	1,663	2,464	1,973

（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入で表示しております。

CLOSE UP!! 中村屋

このコーナーでは「中村屋ならではのモノ・コト」や「中村屋の今」にスポットを当て、その詳細に迫ります。

通信販売限定商品 冷凍カリーのご紹介

新宿中村屋こだわりのカリーを全国の皆様にお届けします

カリーの"味わい"とスパイスの"フレッシュな香り"を閉じ込めるため、冷凍にこだわりました。中村屋の本格的なカリーをご家庭でもお召し上がりいただけます。

新宿中村屋 伝統のインドカリー レストランの味わいをそのままに

中村屋の「純印度式カリー」の味わいと香りを限りなく再現しました。冷凍で食感が変わってしまうためジャガイモは入れずに、その他の材料や製法は忠実に守り、スパイスが香る出来立てを1人前ずつ冷凍しています。伝統の味わいを、そのままご家庭にお届けします。

ここがポイント

7種類のホールスパイスを焙煎し、煮出した"煎じマサラ"による奥深い辛さ

炒めた玉ねぎと自家製ヨーグルト、ブイヨンの濃厚なソース

旨みのある骨付き鶏肉の醍醐味

シェフ仕立てカリー

炒めた玉ねぎと中村屋オリジナルブレンドのカレー粉をベースに、ごろっとした具材と素材に合ったスパイスを用いて、経験豊かな中村屋のシェフが仕立てました。ご家庭で気軽に本格的な味わいをお楽しみいただけます。

ここがポイント

チキンカリー

旨みとコクのあるチキン入りの、スパイシーで香り豊かなカリー。辛味、酸味、甘味のバランスの良い、奥深い味わいです。

ここがポイント

ビーフカリー

柔らかなビーフが入った香り高いカリー。炒めた野菜と果実でコク深く仕上げたソースが、ビーフの旨みを引き立てます。

ここがポイント

ベジタブルカリー

かぼちゃ等の彩り野菜が入った具だくさんのカリー。フェンネル等の香り豊かなスパイスを加え、スパイシーで爽やかな味わいに仕上げました。

【お電話でのご注文】
0120-147-768
営業時間10:00～17:00(日・祝日・年末年始除く)

【FAXでのご注文】
0120-811-768 24時間受付

【インターネットでのご注文】
新宿中村屋オンラインショップ
るくーるるくる Rukuru Rukuru
http://www.nakamuraya.jp/

オンラインショップで御歳暮特集実施中!
- 新規会員登録ですぐに使える500ポイント(500円相当)プレゼント
- 期間中は全商品ポイント5倍

承り期間:2013年12月26日(木)17時まで

会社概要

概要

創業	明治34年12月30日
設立	大正12年4月1日
資本金	74億6,940万円
営業内容	各種和洋菓子・パン・その他食料品の製造、販売ならびに飲食店の営業
従業員数	844名

（上記の他臨時従業員が期中平均981名おります。）

役員

代表取締役社長	染谷 省三	取締役	荒井 英夫	執行役員	飯田 次雄
取締役兼専務執行役員	小林 政志	常勤監査役	本間 忠男	執行役員	佐良土 理文
取締役兼専務執行役員	小林 恒	常勤監査役	吉岡 修一	執行役員	小田川 聡
取締役兼常務執行役員	二本松 壽	監査役	原 秋彦	執行役員	大野 正美
取締役兼常務執行役員	杉山 敏行	監査役	山本 光介	執行役員	伊賀 義晃
取締役兼執行役員	鈴木 達也				

（注）取締役荒井英夫氏は社外取締役であります。監査役原秋彦・山本光介の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

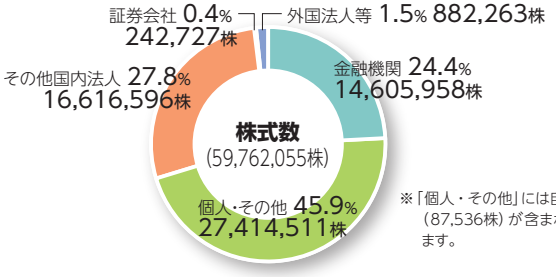
発行可能株式総数	199,044,000株
発行済株式の総数	59,762,055株

（注）自己株式87,536株が含まれております。

株主数	8,847名

（注）前期末に比し39名減少いたしました。

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式（87,536株）が含まれております。

大株主（上位10位）

株主名	持株数（千株）
中村屋取引先持株会	5,388
株式会社みずほ銀行	2,909
三井不動産株式会社	1,800
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,512
日本製粉株式会社	1,301
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,151
日東富士製粉株式会社	1,110
豊田通商株式会社	1,100
株式会社りそな銀行	1,000
みずほ信託銀行株式会社	957

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により掲載。ただし電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社となります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		0120-288-324

お知らせ　新宿中村屋本店は建替えのため休業いたしております。なお、休業期間中は新宿高野ビル6階にてインドカリーをはじめとしたお料理をお楽しみいただけるレストランを営業いたしております。（株主優待券もご利用いただけます。）
株主優待券使用可能店舗の新宿インドカリーの店船橋店は平成25年9月23日をもって閉鎖いたしました。株主の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承をお願いいたします。

株式会社 中村屋

住　所：東京都新宿区新宿三丁目26番13号
e-mail：webmaster@nakamuraya.co.jp
URL：http://www.nakamuraya.co.jp
〈お問合せ先〉総務・法務部
電　話：03-5454-7111

UD FONT

表紙の写真「シェフ仕立てカリー」（通信販売限定商品）　経験豊かな中村屋のシェフが仕立てた、レストラン仕様のカリーです。ごろっとした具材とスパイス使いを大切に、出来立ての味わいをご家庭でお楽しみいただけるよう、冷凍便でお届けいたします。

●本報告書の商品写真はイメージです。